

# 生産者に有利な酪農・乳業構造の確立に向けて

平成28年10月

農林水産省  
生産局

## 目次

1 酪農をめぐる情勢	2
2 生乳流通の現状	8
3 乳業の現状	20
4 牛乳・乳製品輸出の現状	23
(参考) 農協改革の考え方	25

# 1 酪農をめぐる情勢(生産)

- 酪農家戸数は、高齢化や後継者不足等を背景として、北海道、都府県ともに大きく減少。

H8年→H28年  
 北海道: 11,400戸 → 6,490戸 (▲43%)  
 都府県: 30,200戸 → 10,500戸 (▲65%)

- 離農した酪農家の乳牛頭数を、残った酪農家でカバーできなかったことから、飼養頭数は減少。

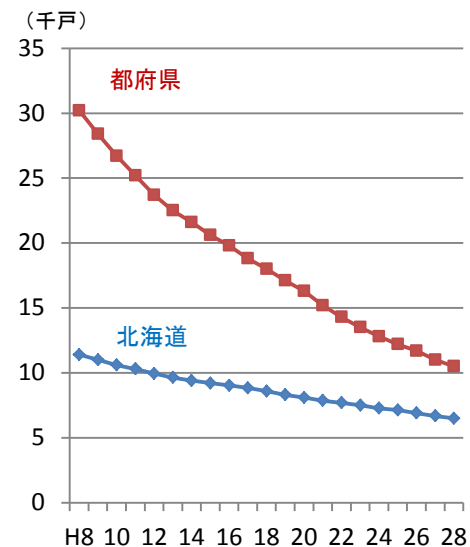
北海道においては、20年間で約1割減となっているが、都府県においては約半数と大きく減少。

H8年→H28年  
 北海道: 88万8千頭 → 78万6千頭 (▲11%)  
 都府県: 104万頭 → 55万9千頭 (▲46%)

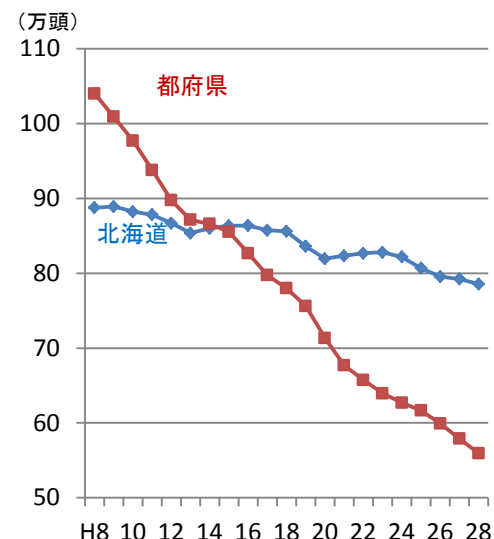
- 一戸当たりの飼養規模は、北海道、都府県ともに増加傾向で推移。特に北海道では頭数が大きく増加。

H8年→H28年  
 北海道: 78頭 → 121頭 (+43頭 (+56%))  
 都府県: 34頭 → 53頭 (+19頭 (+55%))

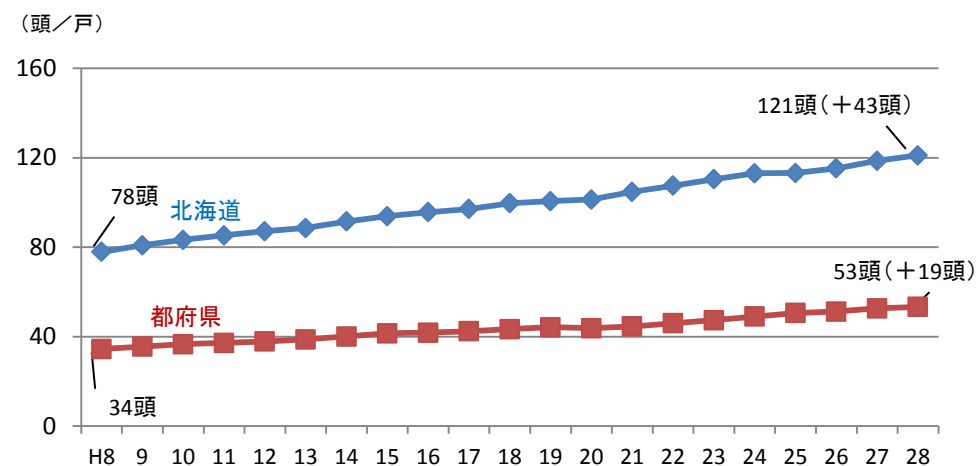
○ 飼養動向(戸数)



○ 飼養動向(頭数)



○ 飼養動向(一戸あたり頭数)



資料: 農林水産省「畜産統計」